

がん情報サロンボード

2015/06/01

～がん関連図書をもっと活用しよう～

がん情報サロン 富田 明人



2009年から島根県立図書館にがん関連図書コーナーが開設されています。静岡県がんセンターの患者図書館「あすなろ図書館」を参考に300冊の蔵書を整備しましたが、その後「ふるさと島根基金」を活用し一般の方に向けた情報や医療者向けの専門書など最新の医療情報が集められています。

医療の情報は最新の情報・鮮度が大切です。新しい書籍が増えたので、最近は県外の方からも注目されリクエストが増えているようです。

平成26年度は170冊の新しいがん関連書籍が整備され、現在1400冊の図書が集められています。図書館の資料は、県立図書館のホームページから蔵書検索で探すことができます。

全国の公立の図書館では、図書の相互の貸し出しを行っており、どこの図書館でも資料を利用することができます。県立図書館では、直接来館が困難な県民の方も書籍等の資料を利用できるよう、市町村の図書館などを通して貸出しを行っています。電話でのお問い合わせは0852-22-5748です。

借りたい書籍等が決まりましたら、近くの市町村図書館の窓口へお申し出ください。

週3回の定期便で市町村図書館に配送します。

平成26年度に整備された図書目録を掲載します。がんを克服するには、一人でも多くの方が、がんに関心を持ち、知識を深めることが大切です。さまざまな情報を活用して「がんのない明るい社会」の実現を目指しましょう。

(富田)

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用対象
1	生と死をめぐる断想 岸本 葉子／著 中央公論新社 2014.11 20cm 203p	人はどこから来てどこへ行くのか? がんを経験したエッセイストが、治療や瞑想の経験、仏教・神道・心理学を涉猟し時間と存在について辿り着いた境地を、平明に深く綴る。	一般
2	死ぬな (新潮新書) 並木 秀之／著 新潮社 2014.9 18cm 190p	重度の障害、五度のがん、側近の裏切り、財産喪失…。様々な壁にぶつかりながらも、ハンデを強みに変え乗り越えてきた異色のファンドマネージャーが語る極限の人生論。	一般
3	がん告知そして家族が介護と死別をのり越えるとき バリー・J.ジェイコブス／著 星和書店 2014.9 21cm 12,305p	患者、家族の内的体験を詳細に記述した物語を軸に、がんの発病、介護、そして死別に至るまでの一連の過程を展開。長い期間、介護者の相談にのってきた著者による介護の知識や、様々な状況を想定したQ&Aも豊富に収録する。	一般
4	代読裁判 川崎 和代／編著 法律文化社 2014.6 21cm 10,217p	下咽頭癌により声を失った市議会議員・小池公夫は、第三者に発言を代読してもらうことで活動を続けようとしたが、市議会は「代読」による発言を許さなかった…。多くの支援者と共に闘った人権奪還の記録。	一般
5	生と死を抱きしめて 沼野 尚美／著 明石書店 2014.1 20cm 242p	ホスピスチャレン(宗教的援助者)である著者が、ホスピスで自分の生と死に向き合った患者の正直な気持ちを紹介するとともに、人は自分の死をどう受け止めていくのか、自分の死からみた生をどう見つめて今を生きるかを綴る。	一般
6	患者の目線 村上 紀美子／編 医学書院 2014.4 19cm 7,257p	医師、看護師、看護教員など、20名の医療関係者が、自身の患者・家族体験をもとに「医療者の事情」と「患者・家族の本音」の2つの目線から、なっとくのケアへのヒントを語る。	専門
7	患者さんトラブル予防・解決Q&A 一杉 正仁／編 メジカルビュー社 2014.9 19cm 17,213p	カルテのコピーを要求されたら? 小児に不自然なあざがあったら? 医療従事者が無用なトラブルに巻き込まれないように、さまざまな場面でどのように対応すればよいかについて、100の実例+Q&A方式で解説する。	専門
8	人間と動物の病気を一緒にみる バーバラ・N.ホロウィッツ／著 インターシフト 2014.2 19cm 401p	がん、肥満、心臓病、うつ、依存症、性病、ストレス性疾患…。動物もかかる病気の研究からヒトの新たな治療法が生まれる。統合進化医学「汎動物学」の発想と取り組みを、提唱者みずから伝える。	一般
9	一生がんにならない体をつくる 石井 光／著 幻冬舎メディアコンサルティング 2014.10 19cm 262p	粘膜の炎症を防ぐことが、がん予防に直結する。最先端がん治療の第一人者が、粘膜の炎症を防ぐ、炎症を元に戻すという切り口を中心に、「一生がんにならない体のつくり方」を解説。	一般
10	病院では教えてくれないがんにならない人の3つの習慣 おのころ 心平／著 大和出版 2014.4 19cm 212p	2万2000件超のカウンセリングでわかった“がん体質”の正体と予防の方法。がんと生活習慣に焦点を当て、がんにならない食べ方・呼吸のあり方・言葉のあり方を紹介する。	一般
11	「がん」にならないための5つの習慣 (生活実用シリーズ NHKきょうの健康) 津金 昌一郎／監修 NHK出版 2014.2 26cm 79p	がんのリスクを下げる5つの習慣、食生活改善術、運動など、普段の生活の中でできるがん予防を、科学的な根拠に基づいて解説。。	一般
12	ペコリーノがんの分子生物学 ローレン ペコリーノ／著 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2014.9 25cm 17,325p	がんの発生から進展にいたる諸過程のメカニズムを遺伝子、分子のレベルで簡明に解説。それぞれのステップで治療のために介入する標的を探り、治療戦略に向けた理解を深めることに重点を置いたテキスト。	専門
13	一生医者いらずの菌活のはじめ方 辨野 義己／著 マイナビ 2013.12 19cm 199p	“菌”は百薬の長! 「うち博士」の異名をとる著者が、腸内にすむ菌を上手にコントロールして腸内環境を整えることで健康と美容を手にいれる“菌活”を提案します。	一般
14	受けたい医療101 (YOMIURI SPECIAL) 読売新聞医療部／編 読売新聞東京本社 2014.6 29cm 273p	『読売新聞』東京本社発行の夕刊に掲載された最新医療情報を新編集。心臓・血管の病気、がん治療をはじめ、中年に多い病気や女性・子どもの病気、こころの病気など多岐にわたり、進化する医療を専門記者が分かりやすく解説。	一般
15	先進医療NAVIGATOR 2 先進医療フォーラム／編集 日本医学出版 2014.3 28cm 7,188p	先進医療のすべてを網羅した一冊。「がん領域の実用化へのTOPICS」並びに「先進医療の各技術の概要」を主要テーマに、がんの治療、再生医療の臨床的応用に関する最新の情報を第一線の研究者が解説する。	専門
16	タクティールケア入門 タクティールケア普及を考える会／編著 日経BPコンサルティング 2014.2 28cm 93p	認知症や末期がんの患者に優しく触れることで、痛みや不安を和らげるタクティールケア。手、足、背中の手技を写真とイラストで解説し、タクティールケアを取り入れている日本国内の施設を紹介する。	一般
17	胃の拡大内視鏡診断 八木 一芳／著 医学書院 2014.10 26cm 9,147p	慢性胃炎および分化型・未分化型早期胃癌の拡大内視鏡診断について、拡大観察時の着眼点、所見の捉え方・考え方などを説明。	専門
18	ファーマシューティカルケアのための医療コミュニケーション 日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会／監修 南山堂 2014.4 26cm 7,286p	がん、精神疾患、生活習慣病など各疾患治療や臨床試験、在宅や病棟業務におけるチーム医療の場面で、どのような表現・言葉づかいでコミュニケーションを図るのが望ましいのかを具体的に解説。	専門

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用対象
19	外来がん化学療法看護ガイドライン 2014年版1 金原出版 2014.2 26cm 93p	抗がん剤の血管外漏出の予防、デバイス合併症の早期発見、対処に対する専門的判断と技術を提供できる実際的な指針を示すガイドライン。CQを新たに追加し、抗がん剤の分類を再考する。	専門
20	ケアの疑問解決Q&A (Nursing Mook) 『月刊ナーシング』編集室／編集 学研メディカル秀潤社 2014.9 26cm 183p	抗がん薬が血管外漏出したときは? 片麻痺のある脳卒中患者の体位は? 脆弱な皮膚のケアはどうするの? 臨床でよく遭遇するケアの疑問に、認定看護師がQ&A形式で解説する。『月刊ナーシング』連載を書籍化。	専門
21	はじめてでもやさしいがん化学療法看護 小西 敏郎／編集 学研メディカル秀潤社 2014.5 26cm 6,137p	看護師が主導のがん化学療法のためのガイドブック。がん化学療法の業務をスタートする看護師に向けて、抗がん薬の知識、副作用、薬剤の調整・管理、投与方法、さらに外来がん化学療法でのケアまで、写真やイラストを交えて解説。	専門
22	ナースによるナースのためのがん患者のペインマネジメント (Nursing Today) 高橋 美賀子／編集・執筆 日本看護協会出版会 2014.2 26cm 8,134p	がん疼痛に焦点を当て、ペインマネジメントを実施するうえで看護師が知っておくべき生理学的知識や薬理学的知識を、アセスメントや疼痛緩和技術についての「根拠(Evidence)」に触れながらわかりやすく解説する。	専門
23	がん疼痛治療の薬-非オピオイド鎮痛薬・オピオイド鎮痛薬・鎮痛補助薬-はや調ベノート 森田 達也／編 メディカ出版 2014.8 28cm 175p	緩和ケアの多種多様な薬剤を使用するうえでのまとまった知識をわかりやすく提供する本。	専門
24	リンパ浮腫の退院時セルフケア指導 近藤 敬子／編集 日本看護協会出版会 2013.12 26cm 7,110p	リンパ浮腫についての基礎知識をはじめ、治療の基礎、退院時指導を行うための基礎知識、患者指導時のポイントを、イラストや表を交えてわかりやすく解説する。看	専門
25	「血液のがん」と言われたら… (お医者さんの話がよくなるから安心できる) 小澤 敬也／著 保健同人社 2014.10 21cm 159p	患者や、その家族など一般の人を対象に、白血病、悪性リンパ腫について、完治が見込める治療等を詳しく解説。高齢者に多い骨髄異形成症候群や、多発性骨髄腫の新しい治療法も紹介します。	一般
26	多発性骨髄腫Updating 第5巻 清水 一之／編集委員長 医薬ジャーナル社 2014.3 26cm 171p	多発性骨髄腫という疾患を正しく理解するためのテキスト。第5巻では、高齢ゆえの生物学的問題が軽視できない、65歳以上の移植非適応患者に対する最新の治療戦略について紹介する。	専門
27	多発性骨髄腫Updating 第6巻 清水 一之／編集委員長 医薬ジャーナル社 2014.8 26cm 295p	第6巻では、AL(免疫グロブリン軽鎖)アミロイドーシスと多発性骨髄腫類縁疾患を取り上げ、基礎から臨床まで、最新の知見を含めて解説する。	専門
28	多発性骨髄腫Updating 第7巻 清水 一之／編集委員長 医薬ジャーナル社 2014.11 26cm 203p	第7巻では、再発・難治多発性骨髄腫を取り上げ、コンセンサスに基づいた治療法とその効果を紹介。次世代新規薬剤についても、臨床試験からの知見を交えて解説する。	専門
29	リンパ浮腫診療ガイドライン 2014年版 日本リンパ浮腫研究会／編 金原出版 2014.2 26cm 14,72p	癌治療に伴い上肢や下肢に生じる続発性(二次性)リンパ浮腫について、エビデンスをもとに診療の指針を提示する。リンパ浮腫診療に携わる臨床医、メディカルスタッフの必携書。	専門
30	レベルアップのためのリンパ腫セミナー 日本リンパ網内系学会教育委員会／編集 南江堂 2014.7 21cm 8,260p	リンパ腫診療の基礎知識から、知っておきたい病理の知識、治療のポイント、押さえておきたいトピックスまで、豊富な図表とともにわかりやすく解説。	専門
31	リンパ腫アトラス 森 茂郎／監修 文光堂 2014.10 26cm 13,407p	リンパ腫の病理に関する最新情報を、豊富なカラー写真とともに掲載。関連疾患との鑑別、病型の日本と外国における発生頻度の比較も収録する。第4版。	専門
32	ガイドラインには載っていない肺がんPractical Treatment 大江 裕一郎／編集 メジカルビュー社 2014.2 26cm 13,209p	合併症・基礎疾患をもつ患者、エビデンスの乏しい肺がん患者に対する治療について、がん薬物療法医はどのように対処し、治療するかを詳しく解説。化学療法だけではない治療全般にも対応する。	専門
33	縦隔腫瘍の画像診断と病理 榎橋 民生／編著 中外医学社 2014.4 26cm 4,153p	前縦隔腫瘍、中・後縦隔腫瘍、傍脊椎腫瘍、腫瘍類似縦隔病変などを取り上げ、それらの画像診断法を解説する。PET/CT、MRI拡散強調画像といった新しい画像診断や、縦隔病変に対するIVRなども収録。	専門
34	症例から学ぶ肺癌最新治療ストラテジー (Case Library Series) 倉田 宝保／監修 メディカルレビュー社 2014.4 26cm 195p	肺癌の実際の症例を呈示し、治療経過、考察とともに、コメンテーターによる意見を紹介する。肺癌治療の現状と展望も収録。Webサイト版を閲覧できるシリアルナンバー付き。	専門
35	縦隔腫瘍・胸膜腫瘍 (腫瘍病理鑑別診断アトラス) 深山 正久／編集 文光堂 2014.4 27cm 297p	検鏡前の確認事項から、組織型と診断の実際、鑑別ポイント、臨床との連携まで、多彩な鑑別診断が必要な縦隔腫瘍・胸膜腫瘍を詳細に解説する。	専門
36	EBMの手法による肺癌診療ガイドライン 2014年版 日本肺癌学会／編 金原出版 2014.11 26cm 12,201p	肺癌に関してEBMの手法に基づいた効果的・効率的な診断・治療法を体系化したガイドライン。「肺癌の診断」「非小細胞肺癌」「小細胞肺癌」「転移など各病態に対する治療」の4項目で構成。	専門

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用対象
37	よくわかる肺がんQ&A 西日本がん研究機構／編集 金原出版 2014.11 26cm 12,187p	肺がん患者とその家族のさまざまな疑問・質問や不安に、Q&A形式で答えたガイドブック。	一般
38	「膵がん」と言われたら… (お医者さんの話がよくわかるから安心できる) 跡見 裕／著 保健同人社 2014.6 21cm 127p	膵がんの90%を占める浸潤性膵管がんを中心に、検査や診断、さまざまな術式による手術法やその他の治療法など、最新の情報をわかりやすく解説する。	一般
39	胃と腸アトラス 1 八尾 恒良／監修 医学書院 2014.5 31cm 21,368,10p	本邦独自の消化管診断学を集成した、臨床に役立つ決定版アトラス。1は、上部消化管の疾患を取り上げ、咽頭、食道、胃、十二指腸の計173項目を掲載する。	専門
40	胃と腸アトラス 2 八尾 恒良／監修 医学書院 2014.5 31cm 19p,p370-703 10p	2は、下部消化管の疾患を取り上げ、小腸、大腸の計143項目を掲載する。	専門
41	消化器癌化学療法 (オンコロジークリニカルガイド) 大村 健二／編 南山堂 2014.11 26cm 13,462p	消化器癌化学療法に焦点を当て、第一線で活躍するエキスパートらが、図表を多用して解説する。国内外の大規模臨床試験や米国臨床腫瘍学会 ASCOなどの情報をアップデートした第4版。	専門
42	患者と家族にもよくわかるGIST<消化管間質腫瘍>ガイドブック 西田 俊朗／監修 メジカルレビュー社 2014.1 26cm 135p	GIST(消化管間質腫瘍)とはどんな病気かをはじめ、GISTの検査と診断、治療、緩和ケア、患者体験記、治療・生活についてのQ&Aを収録したガイドブック。	一般
43	唾液腺疾患のMRI 柏木 伸夫／編集 メジカルレビュー社 2014.10 31cm 163p	唾液腺腫瘍の画像診断への編者らの経験を活かし、病理組織像を正確に反映するMRIを中心とした画像所見から、診断のポイント等をわかりやすく解説する。	専門
44	ガイドラインには載っていない消化管がんPractical Treatment 山田 康秀／編集 メジカルレビュー社 2014.8 26cm 16,281p	臓器機能障害例、糖尿病・循環器疾患など併存疾患のある症例、高齢者等、ガイドライン通りに治療できない消化管がん患者に対する治療法について、薬剤・治療選択、および投与量の決定に関する考え方をまとめる。	専門
45	癌診療指針のための病理診断プラクティス 肝・胆・膵腫瘍 青笹 克之／総編集 中山書店 2014.12 26cm 8,372p	肝・胆・膵腫瘍診断の実際的かつスタンダードな知識を提供するテキスト。	専門
46	ガイドラインに沿った大腸癌化学療法の要点と盲点 (Knack & Pitfalls) 杉原 健一／編集 文光堂 2014.11 26cm 5,183p	「大腸癌治療ガイドライン 医師用2014年版」に記載されている化学療法を実践に応用するためのコツや、ガイドラインの行間を埋める知識、レジメンを駆使している医師たちの経験に基づいた化学療法の考え方などを紹介する。	専門
47	消化器がん化学療法副作用マネジメント 小松 嘉人／編集 メジカルレビュー社 2014.9 19cm 439p	消化器がん化学療法における、レジメンごとの治療の流れに沿って、副作用マネジメントのコツを徹底解説。副作用の出現時期、有害事象の原因と原因別の対処法などもわかりやすく記載する。	専門
48	甲状腺・副甲状腺疾患診療ポケットブック 田上 哲也／著 中外医学社 2014.4 19cm 2,180p	甲状腺疾患診療のエッセンスをコンパクトに凝縮。各症状のポイントや概念・定義、疫学、症候、原因、検査、診断、治療と予後、処方例などを収録する。	専門
49	大腸癌治療ガイドライン 2014年版 大腸癌研究会／編集 金原出版 2014.1 26cm 13,103p	大腸癌治療に従事する医師を対象に、大腸癌の標準的な治療方針を示す。新しい治療法などを改訂した2014年版。	専門
50	患者さんのための大腸癌治療ガイドライン 2014年版 大腸癌研究会／編 金原出版 2014.7 26cm 8,66p	大腸癌の適切な治療を受けるために必要な、大腸癌の正しい知識をイラストや写真を交えてわかりやすく紹介。Q&Aも収録。手術治療、内視鏡治療、化学療法、検査法など最近の動向を取り入れた2014年版。	一般
51	大腸癌取扱い規約 大腸癌研究会／編 金原出版 2013.7 26cm 18,104p	原発性に大腸に発生した癌腫の取扱い方法を示す規約。第8版。	専門
52	大腸がん (健康ライブラリー) 高橋 慶一／監修 講談社 2014.10 21cm 98p	大腸がんの状態と治療の基本方針から、手術後の生活を考えた治療法の選び方、手術後のケア、人工肛門のケア、食事・入浴・仕事の注意点などの治療後に安心して暮らすコツ、再発・転移時の治療までを徹底解説する。	一般
53	大腸ポリープ診療ガイドライン 2014 日本消化器病学会／編集 南江堂 2014.4 26cm 21,167p	大腸ポリープのみならず、表面型を含めた腫瘍性病変・早期癌・ポリープシスなどの「大腸局在性病変」すべてを対象とした診療ガイドライン。定義・分類や分子生物学的内容にまで踏み込む。	専門
54	胃癌治療ガイドライン 2014年5月改訂 日本胃癌学会／編 金原出版 2014.8 26cm 10,58p	胃癌に対する手術、内視鏡的切除、化学療法のそれぞれに関して、治療法の定義、推奨される治療法と適応を示す。臨床診断に沿ったアルゴリズムとStage別の治療法一覧も収録する。	専門

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用対象
55	臨床・病理胆道癌取扱い規約 日本肝胆膵外科学会／編 金原出版 2013.11 26cm 16,93p	胆道癌の治療成績の向上をめざした、臨床的・病理学的取扱い方法についての規約第6版。	専門
56	門脈圧亢進症取扱い規約 日本門脈圧亢進症学会／編 金原出版 2013.5 26cm 114p	食道静脈瘤治療法の発展に貢献することを目的として編集した門脈圧亢進症取扱い規約。第3版。	専門
57	膵癌取扱い規約 日本膵臓学会／編 金原出版 2013.8 26cm 11,57p	治療成績の向上を目的に、膵癌の臨床的・病理学的な取り扱いを規定した規約。第6版補訂版。	専門
58	経鼻内視鏡による胃がん検診マニュアル 日本消化器がん検診学会胃細径内視鏡検診研究会／編集 日本消化器がん検診学会 2014.3 28cm 11,100p	経鼻内視鏡による“望ましい”検診について、標準的な使用方法等を幅広く解説する。	専門
59	胃がんリスク検診<ABC検診>マニュアル 日本胃がん予知・診断・治療研究機構／編 南山堂 2014.11 26cm 9,233p	将来胃がんになりやすいかどうかを4段階に層別化する胃がんリスク検診(ABC検診)。その実際から、現状での問題点、実施例までを解説する。	専門
60	膵がん・胆道がん薬物療法ハンドブック 古瀬 純司／編集 南江堂 2014.7 18cm 12,207p	膵がん・胆道がん治療のアルゴリズムから、膵がん・胆道がんで用いられる薬物療法の実践、副作用に対する注意点と対策、緩和治療、チーム医療についてまで、エッセンスを凝縮して解説。	専門
61	やさしい膵・胆道がん外来化学療法の自己管理 古瀬 純司／編著 医薬ジャーナル社 2014.5 30cm 142p	早期診断が難しく、化学療法の役割が非常に大きい膵・胆道がん。標準化学療法の治療方法や、主な抗がん剤と注意点、主な副作用と自宅での対応、外来化学療法の実際を解説します。	一般
62	HEPATOLOGY PRACTICE VOL.5 竹原 徹郎／常任編集 文光堂 2014.9 26cm 12,338p	肝疾患の基礎から診療の最前線まで、鋭く切り込むシリーズ。VOL.5は、肝癌の診断と治療の最先端を徹底的に解説する。	専門
63	消化器がん化学療法レジメンブック 室 圭／編著 日本医事新報社 2014.10 26cm 362p	2014年10月時点の全レジメンを簡潔に解説し、治療継続のネックとなる有害事象について詳述。	専門
64	心配しないでいいですよ再発・転移大腸がん 山口 俊晴／編集 真興交易(株)医書出版部 2014.4 21cm 240p	大腸がんはどのように再発するのか、もし再発・転移した場合にはどのような治療法があるのか、患者にはどのような心構えが必要かなど、再発に関する様々な事柄を分かりやすい言葉で解説。	一般
65	大学教授がガンになってわかったこと (幻冬舎新書) 山口 仲美／著 幻冬舎 2014.3 18cm 252p	現在抗ガン剤治療中の大学教授が二度のガン患者体験を踏まえて語る、「賢いガン患者」になるための手引き書。	一般
66	40歳からの女性の医学 骨粗鬆症 井上 聡／著 岩波書店 2008.10 19cm 9,111,4p	症状や治療のほか、骨の減少に歯止めをかけ、骨量を増やす予防法などを解説する。	一般
67	見逃さない!骨・軟部腫瘍外科画像アトラス 大幸 俊三／著 全日本病院出版会 2014.5 26cm 11,149p	骨・軟部腫瘍の症例を疾患別・部位別に分けて画像診断や外科療法を具体的に示す。“見逃さないための視点”をベースにしたケーススタディが役立つテキスト。	専門
68	癌診療指針のための病理診断プラクティス 骨・軟部腫瘍 青笹 克之／総編集 中山書店 2013.12 26cm 8,411p	骨・軟部腫瘍の病理診断の実際のかつスタンダードな知識を提供するテキスト。	専門
69	骨転移の診療とリハビリテーション 大森 まいこ／編 医歯薬出版 2014.3 26cm 6,272p	診断・治療からリハビリテーション、緩和ケアまで、骨転移患者のQOL向上のための多職種による包括的なチームアプローチを、いかに行うかを具体的に示す。「がんのリハビリテーションガイドライン」に準拠。	専門
70	40歳からの女性の医学 関節リウマチ 田中 良哉／著 岩波書店 2009.3 19cm 9,113,7p	症状、検査と診断、最新の治療法、治療薬とその副作用、患者が受けられる医療保障と福祉制度など詳しく解説。	一般
71	転移性脳腫瘍診断・治療・管理マニュアル 中川 和彦／監修 メディカ出版 2014.12 26cm 158p	転移性脳腫瘍について概要を説明するとともに、その診断・治療を写真を用いて解説。	専門
72	医学的音楽療法 呉 東進／編著 北大路書房 2014.7 21cm 9,291p	音や音楽の作用機序を解説した総論を踏まえ、癌、疼痛、認知症、発達障害といった対象となる疾患別に、臨床場面における医学的音楽療法の適応と方法を実践的に示す。	専門

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用対象
73	Depression Frontier Vol.12No.2(2014) 医薬ジャーナル社 2014.10 28cm 106p	特集では、がん患者の抑うつへの介入効果について4名の専門家が再考。	専門
74	小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン JPLSG長期フォローアップ委員会長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ／編 医薬ジャーナル社 2013.12 26cm 355p	小児がん患者の治療後の長期フォローアップに必要なガイドラインを疾患別に記載。症状や臓器別に注意すべき点や、心理的・社会的な問題、輸血、予防接種などについても取り上げる。	専門
75	メモするだけでラクになる「がん手帳」のつけ方 相羽 恵介／著 WAVE出版 2014.7 19cm 143p	抗がん剤治療中や再発への不安を抱えている人に向けて、不安がやわらぎ、治療・生活の質が向上し、医師とのコミュニケーションが変わる手帳のつけ方を紹介する。	一般
76	がんで死なない治療の選択 阿部 博幸／著 徳間書店 2014.5 19cm 203p	人間の身体に備わっている免疫システムを研究して生まれた最新のがん治療法、免疫細胞療法を紹介。	一般
77	1週間で退院できるがん手術 (経営者新書) 宇山 一朗／著 幻冬舎メディアコンサルティング 2014.9 18cm 225p	3人のスーパードクターが、最先端ロボットによるがん手術の現状とそのメリットをわかりやすく解説し、ロボット手術によって健康な生活を取り戻した患者の事例を紹介しします。	一般
78	がん患者の輸液・栄養療法 大村 健二／編 南山堂 2014.9 26cm 8,278p	がん治療による消化管への影響、周術期および化学療法・放射線療法時における輸液・栄養療法の進め方とマネジメントなどについて解説する。	専門
79	その鎮静、ほんとうに必要なですか 大岩 孝司／著 中外医学社 2014.10 21cm 3,6,124p	がん終末期に痛みなどの身体的苦痛に苦悩している患者の症状の緩和は十分に可能であることを実際の症例で示す。	専門
80	ひとりで死ぬのだって大丈夫 奥野 滋子／著 朝日新聞出版 2014.5 19cm 236p	「たった一人でも大丈夫」といえる最後の日々のあり方を、緩和ケア医が具体的な事例とともに提案する。	一般
81	がん「余命宣告」でも諦めない 帯津 良一／著 毎日新聞社 2014.2 19cm 173p	東西医学を知り尽くした著者が、がんに克つ心得や代替療法の基礎知識、代替療法を取り入れたがん治療で快復した症例などを紹介しします。	一般
82	肺癌・頭頸部癌・甲状腺癌取扱い規約抜粋 金原出版編集部／編 金原出版 2012.8 15cm 9,165p	肺癌・頭頸部癌・甲状腺癌の各取扱い規約より、特に臨床に関連深い記載事項を抜粋し、日常診療に即役立つ内容を持ち運びに便利なポケットサイズとしてまとめる。	専門
83	「抗がん剤は効かない」の罪 勝俣 範之／著 毎日新聞社 2014.3 19cm 198p	最前線の腫瘍内科医が、「抗がん剤は効かない」を書いた近藤誠医師の誤った見解を指摘し、医学的に正す。そしてがんをどう受け止め、どう向き合い、どう闘っていけばよいのかについて述べる。	一般
84	がんのしおり 2013 社会保険出版社 2014.3 30cm 114p	がんの動向、日本のがん対策、たばこや食物とがんの関係、各がんの現状とできる部位など、がんに関する幅広いデータを、統計グラフを中心にビジュアルで紹介。	一般
85	「がん治療」のウソ (宝島社新書) 近藤 誠／ほか著 宝島社 2014.2 18cm 251p	早期がんは焦って手術する必要はない。がん検診ががんを招く…。検診、治療から緩和ケアに到るまで、医師たちによるがん治療の常識への異論や提言を紹介。	一般
86	Q&Aでわかるがん疼痛緩和ケア 的場 元弘／監修 じほう 2014.9 21cm 434p	がんの疼痛緩和について、がん診療の現場で活躍する第一人者が、Q&A形式でわかりやすく解説する。	専門
87	ガンを消す食事完全レシピ166 済陽 高穂／監修 主婦と生活社 2014.2 25cm 159p	消化器外科の権威が考案した、ガン予防&改善のためのレシピ集。限りなく無塩に近づける、野菜・果物をたっぷりとりなど、済陽式食事療法「8つの法則」に基づいたオリジナルレシピを豊富に紹介。	一般
88	がんを「味方」にする生き方 (日経プレミアシリーズ) 小林 博／著 日本経済新聞出版社 2014.9 18cm 218p	自らのがん体験をバネに前向きに生きる、がん研究の大家が、自分に合った予防・治療法から、がんと対決・対話する心構え、「ピンピン枯れる」理想の死の迎え方まで、がんと賢く付き合う極意を説く。	一般
89	近藤先生、「がんは放置」で本当にいいんですか? (光文社新書) 近藤 誠／著 光文社 2014.9 18cm 221p	がんになったらどうするのが一番の得策か。日本のがん治療に真っ向から異議を唱えてきた孤高の学者が、平穩に天寿を全うするために身につけるべき知識と考え方を指南する。	一般
90	これでもがん治療を続けますか (文春新書) 近藤 誠／著 文藝春秋 2014.4 18cm 213p	「がんの真実」を追究してきた近藤誠による、「近藤誠がん研究所」のノウハウを初公開。命と健康を守るには、断片的な情報にすぎず、がんの基本的なしくみを理解する方がはるかに大事だとわかりやすく説く。	一般

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用対象
91	がんより怖いがん治療 近藤 誠／著 小学館 2014.11 19cm 207p	「命を縮める治療」があります。慶應病院で医師歴40年の近藤誠が、「患者は実験台」の現実を明かす。安易な手術、抗がん剤治療を批判してきた著者の集大成。	一般
92	抗悪性腫瘍薬安全使用マニュアル 西條 長宏／編 医薬ジャーナル社 2014.5 19cm 774p	抗悪性腫瘍薬について、その概要や作用機序を解説するとともに、対象疾患に対する標準的治療を効果・副作用を含め、エビデンスに基づき詳細に記載。	専門
93	最期まで自分らしく生きるためにできること ホスピスケア研究会／監修 河出書房新社 2014.2 19cm 269p	病気のこと、家族との関係、お金のこと…。がん患者とその家族から電話相談を受けている「NPO法人ホスピスケア研究会」が、さまざまな場面で生じる問題点とアドバイスを伝える。	一般
94	チャートでわかるがん外来化学療法の実践 聖マリアンナ医科大学病院腫瘍センター／編集 南江堂 2014.7 26cm 8,140p	がん外来化学療法で遭遇することの多い副作用トラブルについて、処方の実践、主な副作用と発現時期、投与前の注意点などを詳しく解説する。	専門
95	がん治療副作用対策マニュアル 田村 和夫／編集 南江堂 2014.7 21cm 9,348p	がん治療における副作用対策、特に化学療法・放射線療法の処置と治療法について、予防的措置と副作用の発現時の処置に分けて解説。	専門
96	頭頸部がん化学療法ハンドブック 藤井 正人／監修 中外医学社 2014.5 19cm 4,190p	頭頸部がん化学療法に特化したマニュアル。海外の臨床試験によるエビデンスをもとに、重要なレジメンをすべて網羅し、副反応対策や支持療法を示す。	専門
97	大切な人に最期にしてあげられること ホスピスケア研究会／監修 河出書房新社 2014.2 19cm 267p	もし家族や恋人が余命僅かだと知ったら…。告知、在宅ケアの注意点、本人の希望の叶え方などについての不安や疑問に答える本。	一般
98	断食でがんは治る (双葉新書) 鶴見 隆史／著 双葉社 2013.12 18cm 223p	酵素医療の第一人者が、なぜ日本人のがんが減らず、治らないのかを解説し、「腸を正す」鶴見式がん治療と、がんにならないためのライフスタイルを紹介する。	一般
99	緩和ケアエッセンシャルドラッグ 恒藤 暁／著 医学書院 2014.10 14cm 12,317p	「国際ホスピス緩和ケア協会による緩和ケア必須薬」を基に約50種類のエッセンシャルドラッグを厳選。がん患者の症状マネジメントを概説する。	専門
100	ガンが逃げ出す漢方力 丁 宗鐵／著 ヴィレッジブックス 2014.6 18cm 191p	たとえ西洋医学で手遅れだといわれても、諦めるのはまだ早い! 漢方医療の専門医が、漢方によるガン治療の実践について詳しく解説する。ガンにならないための生活習慣・食習慣も紹介。	一般
101	抗がん剤が効く人、効かない人 (PHP新書) 長尾 和宏／著 PHP研究所 2014.5 18cm 172p	抗がん剤の有効な使い方、医師の本音、医師と良好な関係を保てるセカンド・オピニオンの取り方など、賢い治療の受け方を町医者が明かす。	一般
102	がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会／編集 金原出版 2014.6 26cm 15,325p	がん疼痛にまつわる65の臨床疑問について、推奨、解説、既存のガイドラインとの整合性、文献を詳述。ほか、がん疼痛治療を行ううえで知っておくべき基礎知識なども収録する。	専門
103	頭頸部癌取扱い規約 日本頭頸部癌学会／編 金原出版 2012.6 26cm 11,117p	頭頸部癌症例を扱うにあたり、同一規準に則った臨床統計学的資料を得るための規約。解剖学的事項、治療成績の表示、部位別臨床病期分類およびその付属事項などを収録する。	専門
104	患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会／編集 金原出版 2014.6 26cm 124p	がん患者とその家族にむけて、痛みの治療を受けるために知っておきたいこと、痛みの伝え方、治療のしくみ、痛みどめ、薬以外による痛みの緩和方法などについて、Q&A形式でわかりやすく解説します。	一般
105	がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン 日本ペインクリニック学会がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン作成ワーキンググループ／編 真興交易(株) 医書出版部 2014.2 26cm 6,127p	代表的なインターベンショナル治療法について、鎮痛原理、適応、症例、合併症、臨床質問(CQ)、施行法を述べるほか、身体部位ごとのがん性痛の原因と症状、適応になるインターベンショナル治療法を記す。	専門
106	がん患者3万人と向きあった医師が語る正直ながんのはなし 西尾 正道／著 旬報社 2014.8 19cm 191p	手術をせず、抗がん剤の副作用にも苦しめない、生活の質も維持できる治療法はある! 40年間、放射線治療の第一人者として活躍を続ける著者が、がん完治への道を明かす。	一般
107	NST・緩和ケアチームのためのがん栄養管理完全ガイド 比企 直樹／編集 文光堂 2014.2 21cm 8,407p	がん患者の栄養管理法を、緩和ケアやQOLの維持を意識しつつ、基本概念から臨床現場での実際までまんべんなく解説。	専門
108	がんにならない、負けない生き方 (日本屈指の名医が教える「健康に生きる」シリーズ) 平方 眞／著 サンマーク出版 2014.10 19cm 197p	がんにならないためにはどうすればいいか、がんになっても寿命まで生きるにはどうすればいいか、命を失うことが避けられないときにはどうすればいいか。	一般

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用対象
109	がんと診断された私が生きるためにやったこと (角川SSC新書) 広浜 千絵/著 KADOKAWA 2014.3 18cm 206p	胃がん、乳がん罹患した多重がん体質の著者が、多くのがん体験者に取材し、自分の経験も交えながら、がん患者にとって本当に必要な情報を紹介する。	一般
110	がん薬物療法キードラッグ65 古瀬 純司/編著 中外医学社 2014.6 19cm 4,335p	がんの薬物療法で重要な“キー”となる65の薬剤を選び、各薬剤の作用機序と特徴、主な適応や副作用とその対策、さらに適応疾患別の特徴を現場で役立つようコンパクトに収載する。	専門
111	放射線治療学 井上 俊彦/編集 南山堂 2014.4 27cm 26,412p	臨床放射線治療学において検証に基づく多くの治療法を開発してきた大阪大学によるテキスト。放射線治療の基礎から治療機器紹介、疾患別の診断や治療法、緩和治療、展望までをまとめる。	専門
112	今からできるがんにくつ体の鍛え方 星野 泰三/監修・著 青月社 2014.7 19cm 221p	余命宣告を決める要因を取り除いていけば、それを取り消せる可能性があることを説明し、がんが育たない「土壌」づくりや、余命宣告を覆す方法、自宅での治療などについて綴る。	一般
113	がん治療に苦痛と絶望はいらない 前田 華郎/著 講談社 2014.5 19cm 222p	従来の現代西洋医学の常識とは異なる、独自のがんの治療法「CEAT」を紹介する。三大療法の限界と問題点も解説。	一般
114	教えて在宅緩和ケア 前野 宏/編著 北海道新聞社 2014.9 19cm 267p	たとえ末期がんになっても、最期まで自宅で過ごすことは可能です。そのために必要となる在宅緩和ケアの具体例や、しくみ、費用、開始から終了までを紹介しします。	一般
115	がん治療革命 森崎 隆/著 現代書林 2014.3 22cm 239p	がん治療は分子標的薬と免疫抗体医薬、細胞療法、ゲノム解析に基づく個別化医療の時代へと進化する。難治がん治療の最前線に立つ医師が、治療の現状、近未来の予測、そして未来への提言を行う。	一般
116	放射線治療ケーススタディ 山下 英臣/著 新興医学出版社 2014.6 26cm 12,163p	実際の症例から学ぶ、放射線治療の入門書。どのような症例・病態のときに、どのような放射線治療をすすめるのがよいかを東大プロトコルに即して解説する。	専門
117	実践がんサバイバーシップ 日野原 重明/監修 医学書院 2014.4 21cm 19,234p	がんサバイバーシップとは何かから、サバイバーへの関わり方、患者会の活動までを解説する。	専門
118	がん医療における意思決定支援 吉田 沙蘭/著 東京大学出版会 2014.2 22cm 2,202p	がん患者の家族の意思決定支援、とくに患者の予後に関する告知をテーマに取り上げ、そのあり方について多角的な検討をおこない、意思決定の過程を支える支援ツールを提案する。	一般
119	TNM悪性腫瘍分類カラーアトラス Philip Rubin/[著] 丸善出版 2014.8 28cm 12,738p	グラントの解剖図を駆使して、頭頸部、胸郭、腹部、泌尿器系、皮膚・筋骨格系など、全身部位のがんのステージングを各科横断的に見える化したTNM分類のビジュアル解説書。	専門
120	3か月で驚くほどよくなる!がんを死滅させる食事 濟陽 高穂/著 宝島社 2014.11 19cm 143p	消化器外科の名医が、食事療法を適切に行うことで、がんを克服できることを伝える。自宅できる、がんを死滅させるレシピや、濟陽式食事療法「8大原則」も掲載。	一般
121	胃外科のすべて 胃外科・術後障害研究会/編 メジカルビュー社 2014.3 26cm 351p	胃の手術の術者・助手を務めるために必要な知識や手術手技、術後障害について、写真や図表を豊富に用いてわかりやすく解説する。	専門
122	肝臓 (がん研スタイル癌の標準手術) 山口 俊晴/監修 メジカルビュー社 2014.3 30cm 206p	がん研有明病院で日常的に行われている肝臓の標準手術について、手術の手順に沿って、各場面でのポイントをイラストで示しながら手技上の注意点・コツをわかりやすく解説する。	専門
123	胃がんに対する腹腔鏡下胃切除術練習帳 白石 憲男/著 メジカルビュー社 2014.4 30cm 8,235p	外科医が腹腔鏡下胃切除術の安全な手術手技をより効果的に習得するためのテキスト。	専門
124	皮膚科臨床アセット 17 古江 増隆/総編集 中山書店 2014.6 26cm 16,364p	最新の皮膚科学を日常診療に直結する視点に立ってわかりやすく解説。17は、皮膚の悪性腫瘍をとりあげ、分子標的治療薬や免疫療法など、新しい治療法を詳述。	専門
125	ドクター赤座の泌尿器がん最新情報 赤座 英之/著 春秋社 2014.1 21cm 12,179p	泌尿器がん(前立腺がん・膀胱がん・腎細胞がん)の標準治療と最新の動向について、治療選択の指針となるよう、エビデンスをもとにやさしい言葉で解説する。	一般
126	イラストでわかる前立腺がん (手術後・退院後の安心シリーズ) 伊藤 晴夫/監修 法研 2014.4 21cm 159p	前立腺がんの基礎知識から、治療の実際、治療の合併症・後遺症・副作用の対処法、治療中・治療後の日常生活の処方と推奨する食事までをイラストを交えて解説。	一般

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用対象
127	これで安心!前立腺がん・前立腺肥大症 市川 智彦/監修 高橋書店 2014.1 21cm 159p	男性の尿トラブルの主な原因である前立腺がんと前立腺肥大症。その基礎知識から、泌尿器科で行われる検査、最新治療、治療中・治療後の生活の工夫までを、イラストを交えながら解説します。	一般
128	前立腺がん (別冊NHKきょうの健康) 颯川 晋/総監修 NHK出版 2014.10 26cm 95p	前立腺がんの基礎知識から、検査と診断、治療、治療後の生活を安心して送る方法までを紹介。治療後に望む生活をイメージして、自分に合った治療法が選べるよう、イラストを交えてわかりやすく解説する。	一般
129	腎癌のすべて 田邊 一成/編集 メジカルビュー社 2014.4 26cm 13,392p	腎癌疫学、腎癌の分子生物学、腎癌の診断、腎腫瘍の画像診断、腎癌の病期分類、腎癌と鑑別を必要とする疾患、腎癌の治療などについて解説。	専門
130	腎盂・尿管癌診療ガイドライン 2014年版 日本泌尿器科学会/編 メディカルレビュー社 2014.4 26cm 70p	腎盂・尿管癌の診療に携わる医師のためのガイドライン。	専門
131	泌尿器科癌取り扱い規約 日本泌尿器科学会/編 金原出版 2013.4 15cm 13,223p	「前立腺癌取り扱い規約(第4版)」「腎癌取り扱い規約(第4版)」「腎盂・尿管・膀胱癌取り扱い規約(第1版)」「精巣腫瘍取り扱い規約(第3版)」から、臨床・研究のエッセンスを抜粋し、一冊にまとめる。	専門
132	OGS NOW 19 平松 祐司/編集委員 メジカルビュー社 2014.8 30cm 201p	「腹腔鏡・子宮鏡手術」の基本を取り上げ、具体的な練習法から、アプローチ法、器具、腹腔鏡・子宮鏡で行う基本手技などについて、豊富なイラストで詳細に解説する。	専門
133	OGS NOW 20 平松 祐司/編集委員 メジカルビュー社 2014.11 30cm 221p	2014年に保険収載された腹腔鏡での悪性腫瘍手術や、腹腔鏡・子宮鏡に特有の合併症への対処法を中心に、オールカラーのイラストと写真で丁寧に解説した応用編。	専門
134	これからの乳癌診療 2014-2015 園尾 博司/監修 金原出版 2014.7 26cm 195p	日本を代表する乳癌のエキスパートたちが、乳癌に関する内外知見の中から研究の進歩やトピックスを集約。年鑑的よりどころになるよう簡潔に、理解しやすく記述する。	専門
135	乳癌診療アプリケーションノート 国立がん研究センター中央病院乳腺グループ/編 南山堂 2014.7 26cm 11,173p	乳癌診療の流れに沿って、診断・治療方法の方針を箇条書きで簡潔に示した診療マニュアル。	専門
136	40歳からの女性の医学 乳がん 佐伯 俊昭/著 岩波書店 2009.9 19cm 10,166,6p	乳がんのメカニズム、自己検診の方法や症状、検査と診断、治療方法、治療後のケア、再発・転移したときの対処などを詳解。	一般
137	症例から学ぶ乳癌最新治療ストラテジー (Case Library Series) 佐伯 俊昭/監修 メディカルレビュー社 2014.3 26cm 11,173p	原発性と転移性の乳癌を対象に、化学療法、ホルモン療法、分子標的治療薬を用いた症例に焦点を当て、具体的なレジメンや投与量などを紹介。副作用のマネジメントも付記する。	専門
138	子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん患者さんへのドクターズアドバイス 竹島 信宏/監修 新興医学出版社 2014.1 21cm 10,131p	がん研有明病院での日頃の診療経験を元に、子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がんの診断・検査、治療、再発などの疑問にQ&A方式でやさしく回答。	一般
139	乳癌診療ポケットガイド 中村 清吾/監修 医学書院 2014.7 19cm 13,249p	乳癌診療に携わるあらゆる職種の人に向けて、臨床に役立つ知識・新しい知見をコンパクトにまとめたガイド。	専門
140	40歳からの女性の医学 骨盤臓器脱 高橋 悟/著 岩波書店 2008.12 19cm 8,97,10p	患者数が多いのに知名度が低いため、我慢したり一人で悩んでしまうことの多い「骨盤臓器脱」。その原因や症状、体への負担が少ない最新の治療法、予防法などを詳しく解説。	一般
141	40歳からの女性の医学 卵巣がん、子宮体がん 竹田 省/著 岩波書店 2014.1 19cm 9,127,4p	婦人科がんのうち、近年増加している卵巣がんと子宮体がんとは、どんな病気なのか。臓器の仕組み、病気の症状や検査方法、治療の種類、治療後のケア、再発・転移したときの対処などを解説。	一般
142	治療を始める前に読む乳がんの本 イカロス出版 2014.2 21cm 205p	乳がんの基礎知識をはじめ、治療を始める前に知っておきたい情報、診断と初期治療の流れ、各種治療法、治療中の心得や再発・転移の薬物療法、治療費用などについて説明する。	一般
143	はじめての乳がん 土屋 美樹/著 亜紀書房 2014.10 19cm 215p	どんな病院に行けばいい? 治療費はどのくらい必要? 治療に専念するために仕事は辞めたほうがいい? 「自分にとって納得のいく治療を受けるコツ」を乳がん闘病経験者が、働く女子の目線で生々しく綴る。	一般
144	乳がん検診従事者のための乳房超音波検査トレーニング 東野 英利子/著 金原出版 2014.11 30cm 182p	乳がん検診における超音波検査法、正常構造および正常のパリエーション、検診で遭遇する主な乳腺疾患などについて、自覚症状の無い症例の検診写真を中心に掲載し、解説する。	専門

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用対象
145	乳がん診断されたらすぐに読みたい本 豊増さくらと乳がん患者会bambi*組／著 健康ジャーナル社 2014.3 21cm 367p	抗がん剤、リハビリ、髪の毛、お金、仕事、子育て…。突然の病気にとまどう患者やその家族に向けて、40歳の誕生日直後に乳がんが発覚した著者の乳がん体験談と、100人の体験記をまとめる。	一般
146	患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2014年版 日本乳癌学会／編 金原出版 2014.7 26cm 26,199p	乳がんの予防・検診・治療・検査・療養等に関する重要な項目を、Q&A方式で分かりやすく解説する。	一般
147	乳がん患者の妊娠出産と生殖医療に関する診療の手引き 2014年版 「乳癌患者における妊孕性保持支援のための治療選択および患者支援プログラム・関係ガイドラインの開発」班／編集 金原出版 2014.9 26cm 11,125p	挙児希望を有する乳がん患者に対するがん治療・生殖医療、妊娠前のスクリーニング、妊娠中・出産後の管理などについて解説する。	専門
148	「乳がん」といわれたら 2014—2015 (日経BPムック) 日経BP社 2014.6 28cm 178p	「疑いあり」から「再発」まで、乳がん治療のすべてを紹介。治療の流れと全体像が分かるオリジナルフローチャート、「乳がんリハビリ」のポイント、2014年版全国乳がん診療実態調査などを掲載する。	一般
149	乳がんから自分をまもるために、知っておきたいこと。 島田 菜穂子／監修 日本医療企画 2014.10 21cm 127p	乳がんは、知ること、備えること、そして自ら行動することで闘える病。そのために必要な情報を、わかりやすく解説する。乳がんのタイプ別安心な暮らしのためのシミュレーション付き。	一般
150	乳房超音波診断ガイドライン 日本乳腺甲状腺超音波医学会／編集 南江堂 2014.5 30cm 20,167p	正確な診断能力を持ち、現在、乳癌の診断に欠くことのできない検査方法となっている乳房超音波検査。その用語、検査方法、判定方法を標準化したガイドライン。	専門
151	マンモグラフィガイドライン 日本医学放射線学会／編集 医学書院 2014.4 30cm 9,98p	マンモグラフィシステムから、撮影法、読影の基本、画像評価、精度保証までを解説した、乳がん検診のためのガイドライン。ソフトコピーによる画像評価基準を盛り込んだ第3版増補版。	専門
152	乳癌は予防できるか 野村 雍夫／著 東京図書出版 2014.6 22cm 159p	わが国で、なぜ急速に乳癌が増加しているのか？ 乳癌の発癌と予防の研究の現状を述べ、どの程度予防できるかを解析。乳癌にならない30の方法も紹介する。	一般
153	婦人科がん取扱い規約抜粋 日本産科婦人科学会／編 金原出版 2013.2 16cm 17,361p	子宮頸癌、子宮体癌、卵巣腫瘍、絨毛性疾患の各取扱い規約から日常診療に役立つ項目を抽出してポケットサイズにまとめる。臨床の現場で頻用される各種資料も巻末に掲載。	専門
154	婦人科癌診療Q&A 鈴木 直／編著 中外医学社 2014.4 26cm 5,339p	子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌といった婦人科癌診療の現場で遭遇する、ガイドラインだけでは対応できない疑問・難問にエキスパートが明瞭回答。図表も多数収録。	専門
155	がんに不安を感じたら読む本 (光文社新書) 本荘 そのこ／著 光文社 2014.3 18cm 198p	元乳がん患者の著者が、がん治療における落とし穴、いざというときのための「選択力」の身に付け方、全国の名医の活動、がん治療の現場などを紹介。	一般
156	乳房オンコプラスティック・サージャリー 矢野 健二／編集 克誠堂出版 2014.4 26cm 5,222p	厚生省主導で開催される乳房再建用インプラントとエキスパンダーの使用方法に関する講習会の講習内容を網羅し、乳房オンコプラスティック・サージャリーに関する基本的手技を解説する。	専門
157	口腔の緩和医療・緩和ケア 杉原 一正／監修 永末書店 2013.10 26cm 10,220p	がん患者と非がん疾患患者の口腔の緩和医療・ケアについて、主に歯科医師・医師が行う診断・処置・投薬などの医療面と、歯科衛生士や看護師などが行うケア面に分けて解説する。	専門
158	聖路加病院で働くということ 早瀬 圭一／著 岩波書店 2014.10 20cm 7,214p	小児がん治療一筋・40年の医師、訪問看護の先駆者、後進育成に専念する学長、地下鉄サリン事件対応で陣頭指揮を執った救急部長。日本一を目指す聖路加国際病院の姿を生き生きと描き出す。	一般
159	<実録>一円も使わない終活 村上 夏樹／著 飛鳥新社 2014.11 19cm 181p	がんの治療費&葬儀はオール0円で済む!? 妻の視点で綴った、夫のがん発病から死に至るまでの闘病記などを通して、法律を使って「治療費不安」を解消する方法や、シンプル葬儀として注目を浴びている直葬について紹介する。	一般
160	薬害イレッサ訴訟闘いの記録と教訓 薬害イレッサ訴訟原告弁護団／編 日本評論社 2014.8 21cm 8,237p	肺がん用抗がん剤イレッサによる多数の副作用死はなぜ起きたのか。抗がん剤承認にかかわる利益相反行為や広告宣伝の問題点など、薬害イレッサ訴訟の記録と教訓を記す。訴訟書面等のデータを収めたCD-ROM付き。	一般
161	長生きするのはどっち? 秋津 壽男／著 あさ出版 2014.10 19cm 223p	「早期発見・治療」と「放置」、がん治療の正解はどっち? 「炭水化物抜き」と「1日1食」、寝たきりになるのはどっち? 健康に関する35の質問を通して、実は誤っている危険な情報、本当に正しい健康知識を紹介する。	一般
162	マンガでわかる自然治癒力のしくみ (サイエンス・アイ新書 医学) 生田 哲／著 SBクリエイティブ 2014.9 18cm 205p	誰もがもつすばらしい力を、いまこそ使おう! 人間に備わっている自然治癒力のしくみとそれを支える脳・免疫系・内分泌系のはたらき、そして自然治癒力を高める具体的な方法を、マンガでわかりやすく解説する。	一般

平成26年度新たに整備されたがん関連図書

	書誌情報	内容紹介	利用 対象
163	生活習慣病と健康管理 斎藤 征夫／著 診断と治療社 2014.10 21cm 8,180p	日本の代表的な生活習慣病である、がん・心疾患・糖尿病などの疾病を、社会状況を踏まえて説明するとともに、食生活をはじめとする日常生活習慣と疾病との関連を論じる。	専門
164	がんになる29の添加物を食べずに生きる方法 渡辺 雄 二／著 宝島社 2014.4 19cm 251p	トクホの飲み物に、危険な添加物! カビないパンに、有害な化学物質! 危険食品を30年研究し続けた科学ジャーナリストが、がんになる確率を高める添加物と、それらが使われている市販の食品を具体的に紹介する。	一般
165	くすりの事典 2015年版 小林 輝明／監修 成美堂出版 2014.6 22cm 1207p	国内で医療用として承認・使用されている内服薬・外用薬・漢方薬・抗がん剤・インスリン注射液、全6400品目の名前や働き、使用上の注意、副作用などの最新情報を収録。	一般
166	自宅で親を看取る 小池 百合子／著 幻冬舎 2014.9 19cm 187p	とことん寄り添う。そう覚悟を決めて臨んだ最期の日々。悔いはほぼ、ない。88歳の母親を、自宅で看取るまでのかけがえのない時間を綴る。ケア・マネージャーとの連携、公的支援を賢く使う方法なども紹介する。	一般
167	虹を生むひと サトミ セキ／著 幻冬舎ルネッサンス 2014.8 20cm 223p	大切な人たちの死、がん宣告、キラウエア火山やグラスストンベリーで見た不思議な虹。喪失と絶望から、人はいかにして救われるのか…。がんの宣告を受けた後の5年間に書きためたものをまとめる。	一般
168	To Be Continued 曾我 彩加／著 文芸社 2014.9 19cm 196p	突然の胃癌告知が人生の意味を変えた。インストラクターとして活躍する著者が、癌を乗り越え、リハビリを開始し、フラダンスと出会うまでを綴る。	一般
169	がんが消えた生活 高木 達雄／著 幻冬舎ルネッサンス 2014.2 19cm 171p	精密検査での食道がん発覚後、摘出手術を行うも、肺などに転移。それでも諦めず、体にいいことを続けてきた結果、自分自身の力で「がんを消すこと」に成功! がん発覚から、がんが消えるまでを綴る。	一般
170	恵恵 日中の海を越えた愛 恵恵／著 文藝春秋 2014.6 20cm 317p	結婚を誓い合った健太と恵恵。だが彼女は乳ガンに…。日中がもっとも厳しかった7年間、困難を乗り越え、懸命に生きた2人と日中ふたつの家族、その真実の物語。	一般

出典:『週刊新刊全点案内』(図書館流通センター発行)